

IIAE大気環境総合センター特別セミナー

地球温暖化を考える：資源とリサイクル

全3回シリーズ



第1回 2023年7月18日（火）13：30～15：30

『核のゴミの処分と二酸化炭素のネガティブエミッション』

佐藤 努（北海道大学）

第2回 2023年8月22日（火）13：30～15：30

『資源開発と岩石の話 ―なぜ、資源を開発・利用できるのか？―』

金子勝比古（北海道大学名誉教授）

第3回 2023年9月19日（火）13：30～15：30

『暮らしを支える資源とそのリサイクル

― 黄金の国 ジパングを夢からデザインするステージへ―』

恒川昌美（北海道大学名誉教授）

“国土が狭く資源も乏しい”，これが多くの人々が抱く日本のイメージでしょう。日本の国土の広さは世界で61位、確かに広くはないが、経済的排他水域(EEZ)を加えるとその広さは6位となります。このEEZ内にはコバルトリッチクラスト、海底熱水鉱床、メタンハイドレートなどの資源・エネルギーが豊富に賦存します。また、国内の膨大な廃棄物に含まれる有価物の量は資源大国の地下埋蔵量に匹敵するものも多く、都市鉱山として注目されています。今後世界中が2050年のカーボンニュートラルに向けて動きを加速すると、脱炭素技術の導入が急増し、深刻な資源不足になることが懸念されます。これを克服するためには上述の資源を活用するとともに、循環型社会と循環経済の形成が不可欠です。

本講演では、私たちの暮らしが多くの資源にいかん支えられているか、そのために鉱山などで鉱石を採掘（採鉱）した後、どのようにして有用成分を分離・回収し（選鉱）、精製し（製錬）、素材・製品を加工・製造しているかを説明します。また、ここで使われている技術がどのように廃棄物中の有用成分の回収に応用されているか（リサイクル）、イノベーションはどんな時に起きてきたか、などについても述べます。世界に先駆けて日本が循環型社会と循環経済を両立させ、再び黄金の国ジパングと呼ばれるためには、世界史の中で稀有な“リサイクルと循環経済が成立していた江戸の暮らし”は興味深く、かつ参考になることを示します。

主催：一般財団法人大気環境総合センター

場所：ZOOMオンライン開催

参加費：一般 3000円、セミナー会員 1000円、賛助会員 無料

要事前登録
要

下記サイトから事前登録をお願いします。

登録された方には後日ZoomのURLをお知らせします。

https://iiae.or.jp/seminarlist/special_seminar/

問合せ：IIAE大気環境総合センター 事務局

TEL 03-6801-6082 Mail: info@iiae.or.jp

